

# 原子力防災用語集

放射線	ウランなど、原子核が不安定で壊れやすい元素から放出される高速の粒子（アルファ粒子、ベータ粒子など）や高いエネルギーを持った電磁波（ガンマ線）、または、加速器などで人工的に作り出されたX線、電子線、中性子線、陽子線、重粒子線などのことをいいます。
放射能	原子核が別の原子核に壊れて変化し、アルファ線、ベータ線あるいはガンマ線などの放射線を出す性質をいいます。
放射性物質	放射線を出す能力を放射能といい、放射能をもっている原子（放射性核種という）を含む物質を一般的に放射性物質といいます。
シーベルト（Sv）	人体が放射線を受けた時、その影響の程度を測るものさしとして使われる単位です。 1シーベルトは、1,000ミリシーベルト（mSv）です。
モニタリングポスト	放射線を定期的に、または連続的に監視測定することをモニタリングといいます。原子力発電所などの周辺で、モニタリングを行うための設備をモニタリングポストといいます。 平成24年12月現在、長浜市内には2基のモニタリングポストが設置されています。
外部被ばく	人体が放射線を受けることを放射線被ばくといい、放射線を体の外から受けることを外部被ばくといいます。
内部被ばく	身体内に取込んだ放射性物質により、身体の臓器・組織の被ばくを内部被ばくといいます。内部被ばくの経路には、放射性物質を含む空気、水、食物などが考えられます。
屋内退避	原子力災害発生時に、放射線被ばく及び放射性物質の吸入を低減するため家屋内に退避することをいいます。
コンクリート屋内退避	原子力災害が発生した時、周辺住民にコンクリート建物内に退避することです。 コンクリート建物は、木造家屋よりも放射線の遮へい効果が大きく、一般的に気密性も高いので、内部被ばく、外部被ばくの防護効果が高いと考えられています。
避難	住民のかたが受ける放射線の量があるレベル以上になると予測される場合に、現在いる場所から安全な地域へ移ることです。
安定ヨウ素剤	安定ヨウ素剤は、放射性ヨウ素の吸入による甲状腺被ばくを低減するための防護剤で、新生児から40歳未満（※）の人が対象となります。 （※40歳以上の方は甲状腺被ばくによる甲状腺がんのリスクがないとされているため）